



ワガヤネヤガワMAP 東寝屋川編

やっぱり すこいわ 東寝屋川。

wagayaneyagawa map
yappari sugoiwa walkers





ワガヤネヤガワMAP やっぱりすごいわ、東寝屋川。

うちあげ
打上付近からの眺望

打上神社のすぐ近く、急な坂道を登っていったごほうびのように、大阪平野を見渡せる場所がある。木々が生い茂る中、ぽつかりと視界が広がり、できたばかりの第二京阪道路が市街地を縫うように走る様子もはっきりわかる。自然が豊富な東寝屋川だからこそその風景と言えそうだ。

寝屋川市で
一番高い場所
がある。

風情ある
まちなみが
残されている。

ねや
寝屋のまちなみ

昔話で知られる「鉢かづき姫」が生まれた長者屋敷は、かつての寝屋村にあったと言われている。その屋敷があった時代もこんな、風景が広がっていたのだろうか。街路に沿って土塀のある民家が建ち並ぶ寝屋地区のまちなみは、「新寝屋川八景」の一つにも選ばれている。

東寝屋川、ここがすごい。

巨石で造られた
墓がある。

いしのほうでん
石宝殿古墳

生駒山地から続く丘陵地帯の中腹に鎮座する謎の巨石の正体は、7世紀中頃に造られた有力豪族の墓。棺を収める玄室の中へ導くかのように、板状の2つの石が平行に立てられる構造は極めて珍しく、奈良県にしか類例がない。この地と中央政権の結びつきを思わせる、ロマン溢れる場所だ。

自然と歴史が 調和するまち。

尾崎安啓（寝屋川市立中央図書館長）

J R 学研都市線東寝屋川駅を中心とした地域は、寝屋川市の中でも自然環境が豊かで、歴史的風景にも恵まれたところです。

古くは、河内国交野郡に属した打上・寝屋・燈油^とという名の村でしたが、中世には石清水八幡宮の所領であつた星田荘・大交野荘という荘園の一部であつたと思われます。

江戸時代には、打上村・寝屋村・燈油村として存在しておりました。元禄7年（1694）からは打上村と燈油村は、テレビドラマにもなった大久保彦左衛門で有名な小田原藩大久保氏の所領となり（打上村の一部は旗本長井氏領）、寝屋村は幕府直轄領（天領）として幕末を迎えます。明治からは北河内郡水本村となりましたが、昭和36年（1961）に寝屋川市と合併し現在に至ります。

市内を流れる一級河川の寝屋川は、交野市星田（南星台）から流れるタチ川（または傍示川）と枚方市茄子作^{なすづく}から流れる北谷川とが合流する寝屋を起点としています。寝屋の集落は、タチ川の北側にある馬の背のよ

うな台地にあり、その景観は古い集落の姿をよく残しています。

打上は、東寝屋川駅の周辺を通る東高野街道沿いに集落が広がり、石宝殿（古墳）や弘治3年の銘がある雷神石などで有名な明光寺など、多くの史跡に恵まれています。

現在のJ R 片町線（学研都市線）は、元々は明治28年（1895）開業の私設である浪速鉄道（片町〜四條畷）が、明治30年（1897）に同じく私設の関西鉄道に路線譲渡され、翌年に長尾まで路線延長したもので、明治40年（1907）に国有化の後、昭和54年（1979）に東寝屋川駅が開業しました。その後、昭和62年（1987）に国鉄は分割民営化され、西日本旅客鉄道（J R 西日本）となり、翌年からは「学研都市線」という愛称が使用され現在に至っています。

駅の北側には大阪府営寝屋川公園があり、広大な敷地に野球場・テニスコート・陸上競技場などが備えられ、豊かな自然を満喫できる環境が整えられています。寝屋川市の中でも特筆すべき自然環境と豊かな歴史環境が見事に調和した東寝屋川地域は、これからも大切にしたい私たちのまちです。

ロードサイドに
古墳が
突如現れる。

うすまさたかつか

太秦高塚古墳

バス道沿いに突如現れる寝屋川市内最大の古墳。5世紀後半に築かれたもので、全長39m、高さ7m、1段目と2段目の間には円筒形の埴輪が並んで発見された。平成13年（2001）、発掘調査の成果を元に整備が行われ、古代の姿が復元された。頂上からは寝屋川のまちなみを一望できる。

洋画家・佐伯祐三が見た東寝屋川。



河内打上附近



河内燈油村附近

大阪生まれの画家として知られ、パリの街角を描いた作品などで今なお人気を誇る佐伯祐三。実は東寝屋川の風景を描いた作品があることをご存じだろうか。

大正12年(1923)、パリに渡る直前に佐伯は父親の兄で四條畷の光圓寺住職の浅見慈雲を訪れ、渡仏のあいさつをしている。2枚の絵はこの時に描かれたのだろう。代表作である「郵便配達夫」などより前に描かれており、興味深い作品だと言える。

「河内燈油村附近」については現地調査によって場所が特定されている。画面左は今も残る正縁寺の壁、奥に見えるのはブドウ畑で、現在は寝屋川市立教育センターが建つ。白っぽい部分は、かつては今より大きかった蔵王池の西日の反射なのだろう。いつか地元で展示される日が来ることを待ちたい。

共に1923年制作・大阪市立近代美術館建設準備室蔵



鉢かづき姫も通った(?)お寺。

さいれんじ
西蓮寺

観音堂に安置されている千手観音像は、「鉢かづき姫」の物語に登場する姫やその父母も信仰したと言われている。また境内にある「道標地藏尊」には、光背部分に道案内が刻まれており、集落内にあったものが移されたようだ。古くから地域の人々とのつながりが深いことがうかがえる。



石に刻まれた十三の仏様。

しゅうげんじ
秋玄寺

天正11年(1582)創建。本堂の山手側には、多くの石仏と共に、初七日から三十三回忌までの13回の仏事を司る仏像が一つの石に彫られている。右側には生前供養のために祀られたことを意味する「逆修」の文字が刻まれている。また、刻まれた年号から永禄13年(1570)に作られたことがわかる。



こちらは西蓮寺。

こちらは正法寺。

歴史をさかのぼる。

北河内最大の石室を持つ。

寝屋古墳

寝屋川公園(P8)内にある古墳(大阪府指定史跡)。こじんまりとして見えるが、内部の横穴式石室は、復元すると全長10m前後と推定され、北河内地域では最大規模のもの。6世紀末から7世紀初めに築造されており、埋葬されたのはこの地域を治めた有力な豪族だと考えられている。



古代を偲ぶ巨大寺院の面影。

たかみやはいじあと
高宮廃寺跡

現在、大杜御祖神社が鎮座する場所に、かつて大きな寺院があった。発掘調査で出土した瓦の年代により、7～8世紀頃にかけて建てられた後に廃絶し、中世に一度再建されたことが判明。塔の基礎部の跡(写真上)などから、東西に二塔を持つ薬師寺式の伽藍配置だった可能性が高いという(国指定史跡)。



寝屋川市内で一番古い鐘が伝わる。

しょうほうじ
正法寺

古いまちなみを残す寝屋には、お寺が2つ並んで建つ一角がある。そのうちの北側にある正法寺には、市内最古とされる梵鐘(市指定文化財)がある。刻まれた銘文によれば、島根県や広島県にあったお寺を経て伝わったらしい。表面だけでなく、鐘の内側にも602もの法名や家名が刻まれている。

石棺を再利用? 謎の巨石。

みょうこうじ
明光寺

門前にある通称「雷神石」(市指定文化財)は、銘文に弘治3年(1557)とあり、『河内名所図会』にも「一ヶの奇石あり」と紹介されている。しかし、なぜこの名で呼ばれるのかは不明。形や材質から、打上周辺にあった古墳に納められていた石棺を再利用したものと考えられるが、未だ謎に包まれたままだ。※見学の問い合わせは寝屋川市文化スポーツ振興課(☎072-824-1181・代表)まで。





小路第一区だんじり保存会会長
しのはら しずか
篠原 静さん

小路のだんじりは子供が元氣です。しかし、そうなのは実はつい最近。少し前に地域内の分譲地に家が建ち、若いファミリーがたくさん越してきたんです。新しい人に祭りのことを積極的に伝えて、準備から参加してもらっています。また、女性同士が打ち解けることができるよう自治会がお茶会などを考えてくださり、だんじりによって年代問わず地域間の交流を深めてもらっています。毎年秋は、盛り上がりますよ！

◎毎年10月上旬開催予定



上／曳行中はだんじりの綱を使って大人対子供の綱引きを楽しむことも。左／祭りを楽しむ子供たち。



高宮自治会会長
いりたに あきら
入谷 成さん

秋祭りは2日間なのですが、高宮では1日目、だんじり小屋からスタートして30分くらいで高宮神社に宮入します。高宮神社は高台の上にあり、道路も狭いので、全神経を集中して気持ちを込めて曳きます。当日も警備員が交通整理をするなど、事故がないように最善の注意を払っています。綿密に段取りするからこそ上手くいく宮入り。まちの発展を祈りつつ、地域の人と一体となる高宮にとって欠かすことのできない祭礼ですね。

◎毎年10月上旬開催予定



高宮神社の宮入。鳥居の前まで大勢の大人で声を出しながら坂を一気に駆け上る。



打上神社会長
たぶし かずお
田伏一雄さん

打上のだんじりは江戸末期から明治に造られたと言われる、歴史の深いものです。祭りになると打上(高良)神社の境内の倉庫にあるだんじりを、氏神さまを奉る意味を込め本堂の前まで運びます。子供だんじりで町内の曳行も行いますが、そちらは小学生が中心。それでも大人が曳くのと変わらない造りなので、みんな真剣です。神社の境内には夜店も出るので、「ウチの子が喜ぶから」と、地元を離れた人も祭りの日は子供を連れてたくさん帰ってきます。

◎毎年10月中旬開催予定



上／境内のだんじりは、夜になると灯りがともる。下／一生懸命な子供の姿を見て大人も嬉しそう。



寝屋青年会会長
とみばやし けんた
富林賢太さん

寝屋地区では住民が互いに協力して、盆踊りや秋祭りなど昔からの伝統を受け継いできました。中でも圧巻なのが秋祭りのだんじり曳き。祭りの夜、寝屋神社の境内で4.5tもある巨大だんじりを猛スピードで曳くのですが、ときどき拝殿前で後ろを持ちあげ「おじぎ」をします。これは祭りの無事を神様をお願いするだけでなく、秋の収穫に感謝をする意味もあると、先輩から教わりました。祭りを通じ、こういった大切なことを守っていけるよう頑張ります。

◎毎年10月上旬開催予定



上／見事なだんじり太鼓を叩きながら曳く子供だんじりも。左／境内を猛スピードで走るだんじり。



明和自治会会長
にしもと かつひで
西本一秀さん

私が若い頃、明和のだんじりといえば道人がいっぱいになるほど盛大でした。そんな祭りの雰囲気ができるだけ多くの人に楽しんでもらおうと今は地元以外の人でも「曳きたい」という声があれば男女問わず参加してもらっています。飾りのしっかりしている子供用の小さいだんじりもあり、親子2台そろってだんじりを曳くのもこの地区の面白いところ。人のつながりや世代間交流が生まれる祭りとして毎年秋は盛り上がりしています。

◎毎年10月中旬開催予定



上／祭りの間、だんじりは国守神社の境内にあり自由に触れることができる。左／2台そろっての曳行風景。



地元の
人に聞いた
ウチの
だんじりが一番。
東寝屋川の秋はだんじりで盛り上がる。
百年以上の歴史をもつ祭礼が
今も続く理由とその魅力とは？

東寝屋川の真ん中で行われた、世紀の大道路建設！ 第二京阪道路ができるまで。

PROJECT X①



サイズは「太陽の塔」クラス！？

環境のために挑んだ難工事。

地面掘削後、「4連アーチカルバートボックス」(高速道路と一般道路が一緒になった8車線あるトンネル構造物)が建設された丘陵地東部の工事現場。トンネルの一つの大きさは、あの岡本太郎がつくった太陽の塔の顔と同じサイズだとか。とにかく巨大だが、このボックスのコンクリートをならす仕上げは、騒音をださないよう、機械を一切使わず職人がすべて手作業というから驚き。

PROJECT X③



あの「グリコの看板」4枚分！

日本最大級の4連トンネル。

道路工事が行われた丘陵地帯の中で、丘をそのまま残し、トンネル工法を用いて工事が行われた工事現場。長さ275mのトンネルが4つ並ぶ「対断面4連メガネトンネル」は日本でも最大クラス。トンネルひとつで高さ12m・幅16mもあり、道頓堀のグリコの看板を寝かせたサイズと同じだそう。入口を巨大な防音ハウスで塞ぎ、24時間体制で工事を実施し、完成まで3年かかった。

PROJECT X②



30m越アンカー約4200本！

丘を道にした「開削工法」。

①と同様、丘陵地帯であることから、まず土を掘り下げてその中に構造物をつくる「開削工法」と呼ばれる工法が採用された工事現場。道路となる構造物を建設するために、膨大な数の「グラウンドアンカー」と呼ばれる巨大な支え棒で補強した。ここも建造物の仕上げは機械の力を借りずにすべて職人が手作業で行った。道路建設後は土が埋め戻されて、公園や生活道路も建設された。

PROJECT X④



貴重な文化財を多数発見！

道路建設前の大発掘調査。

第二京阪道路工事の計画にあわせて、文化財の発掘調査も公益財団法人大阪府文化財センターを中心に行われた。大陸文化がいち早く伝来したといわれる歴史深い北河内という場所柄だけあって、高宮、小路地区を筆頭に、高速道路建設予定地の各所で、縄文時代から鎌倉時代の遺跡が次々と見つかった。全国でも数例という、漆のついた烏帽子など考古学者から注目を集める発見もあった。

大阪市内

周辺住民の利便性を追求。

まず取り組んだのが、工事中、地域を分断してしまうことへの対策だ。工事関係者が、地元住民と何度も協議を行って様々な施工法を検討。これまでの道路が通行止めにならないよう、高速道路の橋脚が建つ場所にかかる私道や国道のルート切り替えはもちろん、子供の通学路まで配慮した横断歩道橋設置などが事前に行きと行われた。また、丘陵地帯の工事①②では、

まず30mほど掘削してからコンクリートでトンネルを造り、その上に蓋をするように埋め戻すという「蓋掛け構造」を採用した。

穴を開ける一般的なトンネル工法を使わず、このような手間をかけたのは、フラットになった丘陵地帯に新しい道路や公園を造れば、車や人の流れがよくなり住みやすいまちになるという考えがあったからこそ。そして計画どおりトンネルの上には生活道路が整備され、地域の利便性を最大限に考えながら工事は進んでいったのだ。

騒音対策も万全の体制で。

住人のために騒音をどれだけ少なくできるかという工事のスタイルにもこだわった。最も大がかりだったのは、トンネル内工事の騒音対策だ。現場には、2車線の高速道路とその両脇の副道からなる4本連なった人口部分を隠すような、巨大な防音ハウスを設置③。その大きさはなんと、高さ14m・横幅60m・奥行70m！ジェット旅客機がすっぽりおさまるといって驚きだ。他にも、低振動・低騒音の掘削機械の導入、近隣住民に対しての騒音聞き取り調査などいろいろな角度から騒音対策が行われたのだ。

「迷惑」「うるさい」といったイメージを覆す、最先端の工事技術で建設された高速道路は、東寝屋川の発展と暮らしを支えてくれるに違いない。

ワガヤ
ネヤガワ大学
で行こう！

東寝屋川散策ツアー

ワガヤネヤガワ大学地域学講座の受講生がテーマを決め、まち歩きコースをつくりました。
このページで紹介しているスポットを含むツアーの様子は、
寝屋川市ホームページのワガヤネヤガワ大学のページに掲載しています。

橋原RAKU
(モデル)
寝屋川市発行の
リーフレットや、
ワガヤネヤガワMAPの香
里園編・萱島編にも登場。
大学1年生。



ワガヤネヤガワ大学とは…
団塊の世代や熟年層の人
たちの社会参加を促し、地
域デビューのきっかけをつ
くため、寝屋川市が平成22
年度に開設しました。平成
24年度の地域学講座は、東
寝屋川地域でのフィールド
ワークを通じて、楽しみな
がら地域の魅力を発掘し、参
加者自らがまち歩きコースと
マップをつくりました。修了
前には参加者の案内による
まち歩き体験を行いました。

※所要時間はめやすです。14

1 景色と歴史の 散歩みちツアー

この山里は寝屋川市内では一
番の高地で、市内はもろん梅
田、阿倍野辺りまで見渡すこと
ができる。春にはウグイスの声
も聞こえてくる。さあ、山里へ
の散策へ出かけてみよう！

START



東寝屋川駅

2分

①寝屋川市立 埋蔵文化財資料館



開設は昭和56年(1981)で、発掘調
査によって市内のさまざまな遺跡から
見つかった土器・石器などの考古資料
を中心に展示。常設の市指定文化財
の高宮八丁遺跡ドングリ貯蔵穴標本
(弥生時代)と長保寺遺跡出土古代船
(古墳時代)のほか、テーマに基づいた
企画展示も。土・日曜にはボランティア
の方が展示資料の説明をしてくれる。

5分

②四ツ辻道標

南北に走る東高野街道とかつて市内
の東西を結んでいた旧道が交わる地点。
道標には「東 ならいせみち」「南 かうや
のさき 大坂みち」「北 京 八はた 柳谷
星田妙見道」と刻まれている。

15分



これは
一体??

③明光寺 P.8

山門横に建てられている市指定文化
財の雷神石は、弘治3年(1557)のもの
で、正面の中央に「天照山」「天下和順
日月清明」、右に「壇主安全子孫繁」、左
に「伽藍常栄興佛法」と刻まれている。
付近にあった古墳時代(6世紀)の石棺
を再利用したものと言われている。

⑦正縁寺

境内にはさまざまな石造物が遺
され、明治初めにつくられた「河内
西国三十三所観音霊場」の第三
十番札所にもなっている。また、近
代日本を代表する洋画家・佐伯祐
三がここでスケッチをしたことも
近年になってわかった。

GOAL
東寝屋川駅

一番の見頃は
秋です！

25分



⑥梅が丘の棚田

小高い丘に棚田、段々畑が広がっており、季節の花野草は美し
く、特に黄金色に染まった実りの秋の眺めは見事。

2 東寝屋川の ハイクオリティツアー

START



東寝屋川駅

5分

打上地区には寝屋川の「ハイクオリティ」を支える
技術と産業がある。打上の歴史に始まり、最先端技術
から高級食材まで幅広くご紹介。今まで知らなかった
寝屋川の「ハイクオリティ」をぜひ体験してほしい。

START



東寝屋川駅

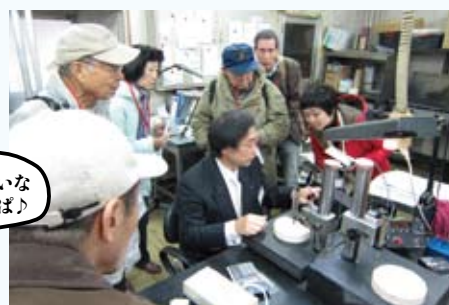
街道が交差する位置に近い、寝屋と大谷は、古い
時代の面影を残しながらも年々大きな変貌を遂げ
ている。東高野街道沿いを歩き、寝屋川市の今昔を
見てみよう。

3 寝屋川市の今昔を歩く 「過去と現在の交差点」ツアー

②明光寺 P.8
10分



足を伸ばして
「弘法井戸」も！
高野山詣での旅人など、
行き交う人々の喉の渇きを
癒してきた井戸。いくら日照
りが続いても涸れることは
なかったと伝えられる。途
中で立ち寄ってみては。



①研磨会社

江戸時代から残る屋敷を改造して操
業を続ける大正3年(1914)設立の企
業。元々は製針会社であったが、高精度
の研磨技術を活かしたハイテク分野で
の業績が光る。



③東高野街道の四ツ辻

東高野街道が南北に、市内の東西を
結んだ旧道が走る、昔の交通の要衝。高
野山詣での旅人で賑わったという。

星田駅

5分

①伝・寝屋長者屋敷跡

「鉢かづき伝説」の鉢かづき姫の
生家と言われる長者の屋敷跡がこの
付近にあったとされる。鉢かづき
姫は寝屋川市のマスコットキャラク
ター「はちかづきちゃん」のモチーフ
になっている。

10分



②西蓮寺 P.9

寝屋の集落にあるお寺。観音堂の木
造千手観音立像と木造地藏尊は必見。

5分

③寝屋神社

寝屋地区と大谷地区の氏神
で、周囲は鎮守の森の雰囲気
が残っている。祭神は八幡神。

20分

⑤灯籠

大谷地区の中心に
ある灯籠で、高野山
詣での旅人を導いて
いる。その他、街道沿
いには地藏堂、喚鐘
(かんしょう)がある。

5分



④北の大師堂

大谷地区の入口にあたる大谷北の大師堂。



④大葉農園

打上の大葉のクオリティは非常に高
く、高品質で有名。高級品志向で差別
化を図っている。

10分

鉢かづき姫の
生家!!



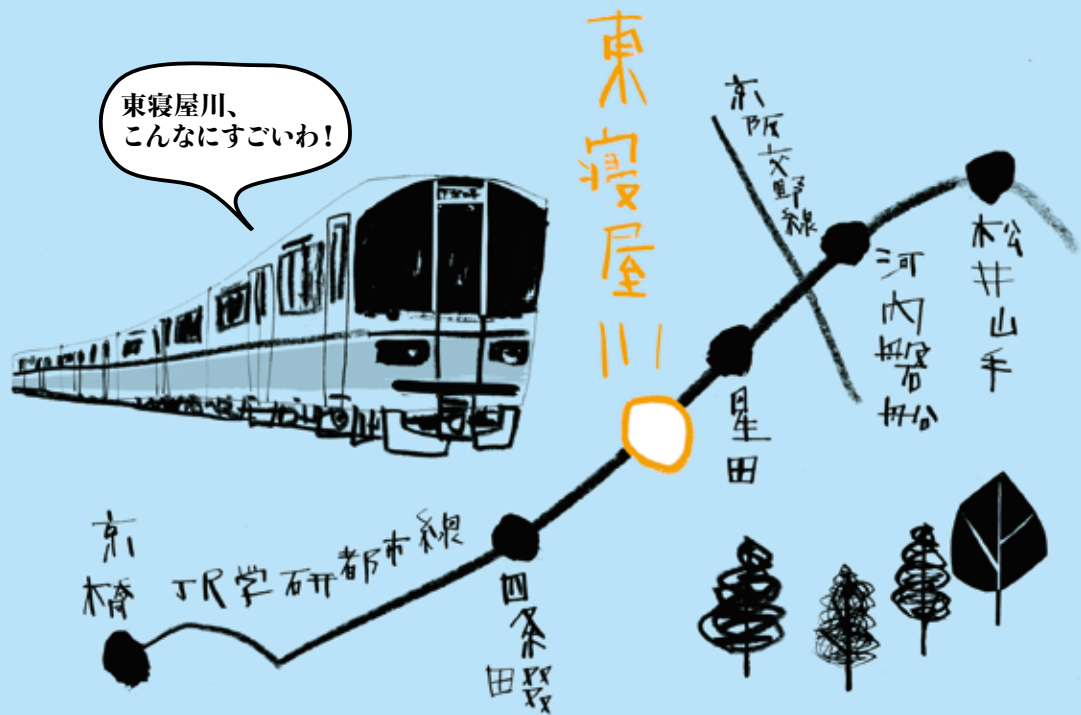
風情
たっぷり



⑥大谷のまちなみ

東高野街道の昔ながらの雰
囲気を残したまちなみ。菊づくりの
名人もいる。

GOAL
東寝屋川駅



発行／寝屋川市
 編集／ワガヤネヤガワ・ブランド開発委員会
 〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号
 Tel.072-824-1181(代表)

企画制作／株式会社140B
 表紙イラスト／奈路道程
 デザイン／吉村麻紀
 取材協力／摂南大学の学生たち

 **寝屋川市**
 NEYAGAWA CITY

 **ワガヤネヤガワ**